

いずみ izumi vol.82



ごあいさつ

国際情勢の緊迫化により、世界全体が不安定さを増しております。こうした状況は、経済や暮らしにも少なからず影響を及ぼしており、私たち福祉の現場においても、先行きへの不安と向き合いながら歩みを進める必要性を感じております。その一方で、高齢者や障害のある方が、地域の中で安心して、その人らしく暮らし続けられる支援の重要性は、これまで以上に高まっています。

こうした社会情勢のもと新年度を迎え、法人全体では26名の新卒職員を迎えることができ、そのうち当施設には6名が新たに配属されました。新しい視点とまっすぐな想いを持つ人材が加わったことは、施設にとって大きな力であり、将来への希望でもあります。

私たちは「働きやすい職場を創り、快適なサービスを提供する」という法人理念のもと、職員が安心して働ける環境づくりを大切にしながら、利用者の皆さまが安全で安心して生活できる支援に取り組んでまいります。本年度も職員一丸となり、地域に信頼される施設づくりに努めてまいります。

統轄園長 鴨田弘樹



法人理念
「働きやすい職場を創り、快適なサービスを提供する。」



支援日帰り旅行



支援事業部では、日帰り旅行で木更津市にある『図那いちご園』へ行って来ました。

10種類前後の完熟した苺の食べ比べをして、みなさんお腹いっぱい美味しい苺を堪能！

昼食は、揚げたての穴子が人気のお店で食べました。丼から、はみ出す程のボリュームでしたが、直送のお魚の味は格別でペロリと平らげておりました。

「美味しかった」「海が綺麗だった」等の声が聞かれ、楽しんでいただけたようで、素敵な思い出を作ることができました。

支援事業部第2課 小堀雪乃



いずみえんでは、毎月第2月曜日に「居酒屋レクリエーション」を実施しています。

お酒やソフトドリンクとともに、季節に合わせたメニューや装飾を取り入れ、ご利用者に居酒屋気分を味わっていただいています。

普段とは少し違う雰囲気の中で、ゆったりとした時間をお楽しみいただいています。

ご家族のみなさまのご参加もお待ちしております。



昼食にお寿司を提供しました。

年に一度の恒例行事となりつつあり、ご利用者のみなさまも毎年楽しみにしてくださっています。

今年は職員がねじり鉢巻きと法被姿でお寿司屋さんに扮し、お寿司をお届けしました。



みなさまあつという間に召し上がり、笑顔あふれるにぎやかで楽しいひとときとなりました。

総務課 栄養係 竹村由

EPA 18期生



昨年12月から、いずみえんに新たな仲間が加わりました。インドネシアから来た、介護2課ムジさんと介護3課ディケさんです。とても礼儀正しく、優しい笑顔が印象的なお二人です。そんなお二人と少しお話してみました。

Q 趣味はなんですか？

ディケさん ダンスと料理をすることです。

ムジさん サッカーと楽器を弾くことです。特にギターが大好きです。

Q 日本で好きな漫画やアニメはありますか？

ディケさん スラムダンクやドラえもんです。それから、日本人のvlogも好きです。日本人の生活や考え方、働き方がおもしろいです。

ムジさん ナルトやボルトを見るのが大好きです。諦めないところや、仲間を大切にするとところに感動しました。

Q どんな介護職員になりたいですか？

ディケさん 安全な優しい声掛けをしていきたいです。私の目標は、仕事をしながらたくさん学ぶことです。日本語もたくさん学びたいです。毎日、真面目に責任を持ってがんばります。

ムジさん 人と関わる仕事なので、思いやりのある介護士を目指してがんばりたいと思っています。私のご利用者とお話するのが大好きなので、これからもコミュニケーションを大切にしながら、信頼関係を築いていきたいです。



いずみえんに頼もしい仲間が増えました。一緒にがんばっていきましょう！



みんなで守る、安心の暮らし ～大規模防災訓練を実施しました～

春の穏やかな午後、3月27日(金)に「大規模防災訓練」を行いました。今回は多摩川の氾濫を想定したもので、デイサービスや通所のご利用者のみならず、そして職員が一丸となって取り組みました。

訓練では、災害対策本部の設置から各フロアへの指示、避難誘導、医務・救護対応、非常食や備蓄水の準備まで、実際の災害さながらに進行。避難を戸惑うご利用者への寄り添い対応も丁寧に行いました。

矢口消防署の吉田係長より「情報整理がしっかりできていた」と温かいお言葉をいただく一方、改善点もご指摘いただきました。いただいたご意見を活かし、ご利用者のみなさまが毎日を安心して過ごせるよう、職員一同これからも力を合わせてまいります。

総務部 部長 加藤奈緒美



二十一世紀桜まつり

3月29日(日)に大田区民プラザで開催された「二十一世紀桜まつり」に今年もIZUMIEN CAFÉとして模擬店を出店しました。今回で3年連続の模擬店出店となり、IZUMIEN CAFÉが地域の方々に認知されるきっかけとして定着しつつあると感じる一日でした。施設祭りである「いずみえん納涼祭」でも販売し、好評を得ました「いずみえんエール」を販売しました。ご利用者が作業活動にて製作に携わった商品を地域の祭りで販売することができ大変嬉しく思っています。障害者支援に対しての理解が深まることが、地域共生の一步となることを信じて務めて参ります。

支援事業部 園長 野口光



徳心会の魅力がたくさん詰まった『コンセプトムービー』を作成しました。目的はもちろん「徳心会の魅力」を広く伝えることですが、今回撮影された職員や

利用者の「笑顔」を見ていると、あらためて“福祉”という仕事の意義に気づかされました。とかく職員たちは日々の業務のなかで忙しくしていることから「なんのために」を忘れがちになります。法人理念にもある通り、わたしたちは「ご利用者のために」快適なサービスを提供しています。「ご利用者のために」働いている職員と、徳心会を利用してくださっているご利用者の笑顔や魅力がたくさん詰まったムービーです。職員たちはこのムービーを見てあらためて「自分のしごと」について考えてほしいし、ご利用者・ご家族のみなさまには徳心会の魅力を感じていただきたいです。公開は法人Instagramなどで発信します。楽しみにしててください！

コンセプトムービー完成!

合同広報委員長
眞弓勉



いずみ VOL.82

発行 社会福祉法人 徳心会
福祉施設 いずみえん 広報委員会
〒146-0093 東京都大田区矢口3丁目1番5号
TEL. 03-3759-5550 FAX. 03-3759-5634

発行人 統轄園長 鴨田弘樹
編集人 広報委員長 眞弓勉
発行日 令和8年4月15日
E-mail izumien@tokushinkai.jp
H P https://tokushinkai.jp/



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。
※撮影のため一部マスクははずしております。

風天



桜の季節はすでに過ぎ、早くもツツジの咲く季節となりました。今年の春は気温上昇が早く、夏の暑さの到来も早いと予想されております。暑さに慣れるためにも、今のうちから少しだけでも身体を動かし汗をかくことが推奨されております。多摩川沿いのランニングも風が心地いい季節です。ランニングなどした後は、私もお酒が飲みたくなりますが、みなさまも運動後はお酒ではなくスポーツドリンクなどで、こまめに水分補給を行っていただければと思います。今年度もみなさまが健康で生き活きとお過ごしできますようお願いしております。

相談課 中村和史